

2017・10・22

がん哲学外来さいわいカフェ in茨城・筑西

# さいわい ニュースレター

創刊号

## Saiwai News Letter vol.1

### さいわい特集

茨城初、「がん哲学外来カフェ」が、筑西市幸町にオープンいたしました。本日は、特別記念講演会に、一般社団法人がん哲学外来理事長 樋野興夫（ひのおきお）先生が来てくださいました。また、多くの方々が「さいわいカフェ」にお集まり下さいましてありがとうございました。生まれたばかりのひよっこカフェですが、茨城の地で、みなさんと一緒に、作り上げていけたらさいわいです。「さいわいカフェ」をどうぞご利用ください。よろしくお願いいたします。

#### はじめに：出会い

2016年の夏の終わりのこと、わたしは久しぶりに会った友達とココスでランチをしていました。その時に、友達が、「がん哲学って知ってる?」「ひのおきお先生って知ってる?」と話してくれたのが、わたしと「がん哲学」との出会いとなりました。「え～、何々、初めて聞いた」とわたし。それから気になって、検索したり、アマゾンで書籍を購入したり…。わたしは、実父と義父が、がんでこの世を去っています。また、病院で仕事をしているため、身近に「死」について考えることがあり、樋野先生の「ことばの処方箋」に感動、とても癒されました。

2017年1月に、念願の「御茶ノ水メディカルカフェ」に、その友達と一緒に参加し、初めて樋野先生にお会いしました。そこで、「茨城でがん哲学外来カフェを始めたいんです」と挨拶させていただきました。その後、流山、宇都宮、野田、川越、淀橋などのカフェを訪ねてみました。

また、「がん哲学外来・メディカルカフェ初級クラス」に参加の機会が与えられ、そこで「名前と場所が決まればカフェを始められます」と伺いました。

名前は、「さいわいカフェ」と名付け、場所は教会で承諾が得られたので、7月の末に「認定団体申込書」を提出、7月27日に登録確認の連絡があり、がん哲学外来のHPに、【茨城県】**NEW!**の文字がピカピカ光りはじめました。

ちょうど、今年度上半期は、朝ドラで「ひよっこ」が放送されており、みねこに元気をもらい、樋野先生の「言葉の処方箋」からパワーをいただいて過ごしてきました。

年頭に口にしたことばが、このような形で実現し、一番びっくりしているのはわたし。四つ葉のクローバーを見つけた時のようなほっこり感、小さな喜びの数々…これから、さいわいカフェを通して出会う方々と、一緒に分かち合っていけたらさいわいに思っています。

さいわいカフェ代表  
海老澤規子



#### ことばの処方箋

「ハピネス(happiness)」ではなく、「ジョイフル(joyful)」こそ真の喜び。

「ハッピー」の意味は「幸せ」。

英語を習っていない子どもでも知っている単語だと思います。みなさんもハッピーになりたいと思いますよね。

でもその幸せは本当の「喜び」といえるでしょうか。……私は人生の真の喜びは、「ハピネス(happiness)」ではなく「ジョイフル(joyful)」だと思います。

ハピネスもジョイフルも辞書で引くと「幸福」「喜び」「楽しい」など似たような意味ですが、私が思うハピネスは「表面的な幸せ」、ジョイフルは「心からの喜び」という違いがあります。

表面的な幸せを求めるから、かなえられないと失望に終わるのです。……

ジョイフルは「そこに在る」という喜びです。

存在そのものに価値があり、幸せがある。そして、どんな状況でも人のために思い、行動する。その思いがジョイフルです。

ジョイフルの精神は、元気な人だけのものではありません。病気で思うように動けない人でも持つことができます。…

ジョイフルには自分はもちろんのこと、周りの人をも変える力、幸せにする力があります。

「真の喜びはハピネスではなくジョイフル」。

「自分はハッピーじゃない」と感じるとき、思い出していただきたい言葉です。

樋野興夫著

『あなたはそこにいてだけで  
価値ある存在』

(KADOKAWA) P35～より抜粋





## 本日の予定

ようこそ!「さいわいカフェ」においでくださいました。  
心から歓迎いたします。

- 14:30 はじめの挨拶  
樋野興夫先生講演会  
「がん哲学外来へようこそ」
- 15:30 質疑応答
- 16:00 ゴスペル鑑賞 (コナート・ゴスペル・クワイア)  
My Life is in Your Hands  
きみは愛されるため生まれた  
365日の紙飛行機 (と一緒に)
- 16:30 おわりの挨拶 (アクトのご協力をお願いします)  
書籍の販売・サイン会 (ロビーにて)



## つもり違い十ヶ条

樋野先生の著書や講話でよく耳にすることに、島根県の出雲大社があります。その民芸店で「つもり違い十ヶ条」が書かれたお土産が売っているそうです。島根県にはまだ行ったことがありませんけど、茨城にもあるかもとわたし。「認定団体申込書」を提出した7月23日のこと、わたしの住む「桜川・筑西」インターから車で20分のところにある茨城県笠間市「常陸国 出雲大社」に民芸品求めて行ってみました。平成4年に島根県出雲大社から分霊鎮座と書かれていました。大きな大木の柱に囲まれ森林のパワーがただけそうなそこには、なんと、民芸品店がない(^\_^) あったのは、おしゃれなガラスギャラリーでした。「つもり違い十ヶ条」には会えませんでしたけど、記念にふくろうのフォトフレームを購入してきました。その後「つもり違い十ヶ条」は、淀橋カフェでプリントをいただくことができ、先生のお勧めに従って、トイレに飾っています。

## 今後の読書会カフェのご案内

テキストに樋野興夫先生の著書  
「明日この世を去るとしても、今日の花に水をあげなさい」  
を読み、お茶をいただきながら、ゆったりと語り合ひましょう。

- 今後の日程：第1回 2017年11月25日(土)
- 第2回 2018年1月27日(土)
- 第3回 2018年3月24日(土)
- 13:30~受付 14:00~16:00開催予定
- 詳細は、読書会ちらしをご覧ください。



## 人生は思い出づくり

初めて筑西市に来られた方や  
初めて教会に来られた方も、  
多くいらっしやと思います。  
本日はいかがだったでしょうか。  
よい思い出になっていただけたら  
さいわいに思っています。



## さいわい・幸い・Saiwai特集

「さいわいカフェ」と名付けてから、「幸」の字が気になって、気になって「幸子さん・幸恵さん・幸夫さん・幸吉さん・幸造さん」など、ご両親が「幸い」を願って名付けたのだろうと、勝手に親しみを感じるようになりました。筑西市名産の梨の中にも「幸水」という品種があり、「幸希」というかすてら屋さんも友達のような気がしてしまいました。筑西市幸町にある幸町キリスト教会の場所で開催するので「さいわいカフェ」と名付けました。単純ですがよい名前だと感じています。筑西市は2005年に、しもだて市・あけの町・きょうわ町・せきじょう町が合併し誕生しました。別名「しあわせ市」とも言われています。幸町は住民の方の公募で付いた名前だそうです。しあわせ市幸町さいわいカフェ、みなさんのしあわせと喜びの溢れる場所になっていたらさいわいです。

## 本日のお茶のとも

本日は、特別講演会を記念しまして、心ばかりですが、筑西市の銘菓「しあわせまんじゅう」と、ツイてるおいしさ「ハッピーターン」を用意しました。みなさんの上にハッピーがターンしてきますように。



## 只今工事中&ボランティアスタッフ募集中 NEW!

「さいわいカフェ」はオープンしたてのびよっカフェ。びよびよ! よちよち! 成長していけたらと思っています。ご迷惑をおかけするかもしれませんが、どうぞよろしくお願いいたします。

只今、一緒にカフェを作っていくボランティアスタッフさんを募集しています。お茶やお菓子の用意や送迎、寄り添うことなど、できることで力を貸していただけるとさいわいです。

詳しくは、海老澤まで、気軽にお声をかけてください。お待ちしております。



ご迷惑をおかけして申し訳ありません

## 編集後記

ここに「さいわいニュースレター」を発行できましたことを心から感謝いたします。たくさんの四つ葉のクローバーのイラストは「aonowa」さんがプレゼントしてくださいました。この場をお借りしてお礼を申し上げます。ハイジやポリアンナのように、無邪気に喜んで、苦難の中でも「よかった探し」ができればさいわいです。喜びは2倍に悲しみは半分に、みなさんと分かちあっていたいです。

9月19日に初級クラスが終了し『偉大なるお節介症候群 認定証』をいただきました。わたしは、もともと気が利かずお節介は苦手な方なのですが、樋野先生を通して、この「偉大なるお節介症候群」に感染してしまったようです。なかなか感染力が強い症候群ですので、みなさんに広まっていくことを楽しみにしています。感謝しつつ  
さいわいカフェニュースレター 編集長 海老澤規子

